

第9回 まちづくり発表会

NPO法人南大阪サポートネット
2021.1.23

NPO法人南大阪サポートネットの歩み

- 2001年 南大阪サポートネット設立
- 2004年 CAPプロジェクト大阪狭山と南大阪サポートネットを合併し
法人化するための設立総会を開催
- 2005年 3月末日、特定非営利活動法人を設立
- 2008年 9月、大阪狭山市男女共同参画推進センターの事業受託
(2019年3月終了)
- 2014年 ひきこもりの若者自立支援を開始
- 2017年 居場所『To-Villa (トビラ)』を開設

Mission 『生きづらさ』をサポートする

- わたしたちは、「生きづらさ」を感じている人達の想いやペースに寄り添い
- 自分たちも一緒になって「お互いさま」の関係の中から、みんなが「ワクワク、笑って暮らせる」社会をめざしています。

Mission 『生きづらさ』をサポートする

- 私たちが願うのは、

みんなが誰かのサポーター になること

- それは、誰もが**「自分らしく生きる」**ため、みんなが共に支え合い、一緒になって考えることからはじまると思っています

ひきこもりの若者の自立支援

すてっぴん by すてっぴん事業

- 競争社会の激化や働くことの価値観の変化等、様々な要因でひきこもりの若者が増えています
- 私たちは「社会的ひきこもり」からの自立をサポートができないかと当事者や当事者家族らに「居場所」と機会を用意しています

特定非営利活動法人南大阪サポートネット

編集・発行：南大阪サポートネット広報部
事務所：大阪狭山市狭山1丁目862-5
TEL.&FAX 072-367-8331
2015年 8月20日 発行

http://npo-supnet.jimdo.com/ e-mail: minami_supnet@yahoo.co.jp

「すてっぴ by すてっぴ」
事業のご案内

若者の「ひきこもり」からの自立に向けて共に歩む

この事業は体験者からの声で
動き始めました

『すてっぴ by すてっぴ』

この事業は、若者の「ひきこもり」に関連して、当事者、当事者家族が持つ「生きづらさ」が少しでも軽くなることを願って、昨年度よりスタートしました。それぞれの人が感じる「安心して暮らせる日々」に向かうために、できることを共に考え、寄り添いながら一緒に歩んでいければと思っています。

私たちは当事者家族、サポーターと協力して、一人一人の歩みに合った体験（スモールステップ）を少しずつ積み重ねながら、当事者が自分の人生を歩み出していき姿をイメージしています。2014年度はサポーターとして学びを重ねたり、当事者家族や当事者の気持ちに寄り添う環境として「定例会」と「cafeすてっぴ」を毎月実施しました。

2015年度は「親の会」もスタートし、近隣関係団体とのつながりを作ること、そしてスモールステップを積み重ねる機会を一緒に作ることを目標に進みたいと考えています。

「不登校」～「ひきこもり」
体験したからこそ必要だと考える

社会にできることが必ずあると信じています

実際に私の息子は高校2年生のときから不登校になったが、現在24歳でアルバイトをしている。ここまでたどり着くのに(まだ通過点だが)本人が一番悩ましかったと思う。私も「高校は行かないとだめ」と強く思っていたなかったが、彼の人生が幸せであることに向かう、そのためにどうすればよいか、何ができるのか？は今も模索中である。これらの体験は、事業を展開していく中で活かしていきたいと思う。

私たちが大切にしたいこと

当事者、当事者家族、サポーターが

- ① 自分の中にある力を知る
- ② 生活の中で必要な事、モノ、人、つながる力があることを知る
- ③ その力を持ち一歩歩き出す

ひきこもりは、現代では「誰にでも起こりうること」です。勇気を出して発信したら、温かい気持ちを持ったサポーターがたくさんいて力になってくれる。

「みんなが誰かのサポーター」

そんなふうに気軽に力になりあえる
地域社会を目標にしています。

また、私はひきこもりであっても、「学校」という所属しているところがある時期と、その後では大きく違うと感じた。所属がなくなると家族だけで問題を抱えることになる場合が多いからである。本人が社会の中で幸せに生きていくためには、最低限のコミュニケーションや関わりを持つ力(それが「助けたい」という言葉だったとしても)は必要になってくる。その力を育む機会が不登校だったぶん少ないのも事実である。

そして過去の体験からの、「失敗」を恐れる気持ち、「うまくやらねば」という強迫観念、「人からどう見られるか？」という恐怖心、多くの不安を抱えてのチャレンジとなる。まずは本人も、家族も安心して立ち寄れる居場所を作ること。本来持っている「力」を発揮する機会があること。そこで自分がスモールステップを数多く積み重ねることで自信の回復になり、自己肯定感や自尊感情を育んでいくことができれば、希望を感じることで、初めの一歩にもつながると信じている。(H) 2015年8月

背景にあるもの 経済至上主義の現代

世の中は産業革命以降「より速く、より正確に、よりたくさん成果を求める」傾向に向かいました。より生産性をあげるために多くの職場は生活の場から離れ、ほとんどの家庭では男性が職場に朝早くから、夜遅くまで拘束され、家庭におけることや子育ては女性の役割として位置づけられることが普通になりました。

戦後の復興から高度成長時代には何の疑問も抱かずに、国民が一丸となり邁進したことで、現在の経済至上主義と呼ばれる時代となりました。そのことにより快適な生活を手に入れた一方で、今では置き去りにしてきたものの大きさに警鐘を鳴らすメッセージも多く聞かれるようになりました。

「ひきこもり」を取り巻く社会は

「不登校」や「ひきこもり」という言葉からは、「なまけもの」「軟弱」「普通でない」というような否定的なイメージが持たれ、現代社会では「負け組」として位置づけられてしまいます。気づいているかどうかは別として、多くの人が抱える「生きづらさ」の根源である、「〜べきである」「あらねば」という「枠」に縛られている世間からの理解も得にくく、家族だけで抱え込んでしまうケースも多くみられます。それゆえに元の場所(「ふつう」と呼ばれている)に早く戻ろう、戻そう、と躍起になってしまったり、自分たちの状況をみて悲嘆にくれたり、誰にも話せず孤立してしまったり。当事者、家族、支援者共に疲弊してしまいう前に支援とつながる道を作る必要があると考えます。

私たちの「すてっぴ事業」の特色は

地域にも若者自立支援として、様々な規模の、就労につなげるための機関や相談窓口が設置されていますが、一足飛びに社会に送り込む形になっているのは否めません。また、「親の会」などに代表される、気持ちを話す安心できる機会を関連する専門家が作っていることもあります。どちらも大切に必要な機関ですが、それだけでは当事者が実際に安心してスモールステップを踏み出せる機会が十分とはいえないのが現実です。私たちは、「当事者家族が立ち上げた活動」として、すでにひきこもり支援をしている諸団体ともうまく連携を取り、つながりながら展開していきたいと思っています。ひきこもり体験者家族の中に、お互いが関わり合える斜めの関係性を持つことができればこのうえないと思います。

背景にあるもの 失敗が許されない

教育の現場にもその価値観は持ち込まれ、「みんなと同じように」できることが求められ、失敗することが悪いことのように評価される中で、子どもたちも、大人も、いかに失敗ないように過ごせるか？みんなと同じように過ごせるか？ということに一生懸命になっているようです。

教育の現場は本来、色々な体験を積み重ね、失敗も経験のひとつとして、のびのびと学びを重ねることができる場所であるのが望ましいのではないのでしょうか。現在はいつのまにか「ふつう」と呼んでいる枠からはみ出さないように、細心の注意を払って過ごす場所になっていることは否めません。

「ひきこもり」は

大きく3つに分かれると書かれています

社会的にも「ひきこもり」の問題は大きなことで、年齢層も幅広く、理由も多岐にわたります。コミュニケーションがうまく取れない原因に、①学習症や、注意欠如多動症、自閉症スペクトラムなどがある場合。②うつ病などの精神疾患になり治療が必要な場合。③人との関わりの中で辛い経験からトラウマになっているものがあることで、次の一歩に向かえないということもあります。しかし、原因が特定できない場合も多く、また複数の重なり合っていることでもあります。私たちは、当事者家族、サポーターと共に一人一人の歩みを考えながら、当事者や当事者家族の気持ちに寄り添い、関係団体との連携を図り、そしてスモールステップを積み重ねる機会を一緒に作っていききたいと考えています。

お読みくださった
皆さまへ

ひきこもりは社会全体の課題です。しんどさを抱えている家族の方の孤立を防ぐために、皆さんのご協力をお願い申し上げます。

取り組みにご理解頂き応援してくださる方(賛助会員・寄付金も考慮)を募っています。皆さんのご支援を心よりお願い申し上げます。

簡単ですが・・・

ぜひ耳を傾けてください

誰にでも起こりうる

社会課題です

ひきこもりの実数(15~39歳)

2016年、内閣府より、ひきこもりの対象者は、
全国で推計**54**万人(予備軍**155**万人)と発表
されている。

(注) 現実には

実際ひきこもり当事者が閉ざされた環境にあることから
実数の把握は非常に困難を極める。

ひきこもりの長期化（40歳～64歳）

- 満40歳から満64歳までのひきこもりの出現率は1.45%で、推計数は**61.3万人**であること
- ひきこもり状態になってから7年以上経過した方が約5割を占め、長期に及んでいる傾向が認められること
- 専業主婦や家事手伝いのひきこもりも存在すること
- ひきこもり状態になった年齢が全年齢層に大きな偏りなく分布していること

（内閣府2018年調査）

大阪狭山市に置き換えてみると

- 前述の内閣府対象者調査結果から推計

大阪狭山市におけるひきこもりの対象者は

15歳～39歳 約260人

40歳～64歳 約330人 計 **約590人**

この数字は狭山中学校全校生徒数とほぼ同数

ひきこもりの定義として内閣府は

- 趣味の用事のみときだけ外出する
- 近所のコンビニなどには出かける
- 自室からは出るが、家からは出ない
- 自室からほとんど出ない

この状態が6ヶ月以上 続いている

しかし現実には・・・

外出はできるが経済活動は困難（未就労）

社会での居場所がない（繋がりや所属）

中学生以下（15歳以下）の不登校などの方

はるかに大勢の方々が

困難な状況に置かれている

包摂的な支え合い



対象者を切り離したサポートだけでは不十分

地域で生きる私たち全員の課題

みんなで取り組む

ことこそ効果的

包摂的な支え合い

今、少し余力のある人が

自分にできることを 出来るときに 可能なだけ

今、しんどいと感じる人は「助けてほしい」と言える

お互いに無理のない範囲で支え合える

「おたがいさま」の関係性



お手紙を
お読みください



私たちの居場所
こんなところですよ

古着屋さん K I N J I
を曲がると見えてきます

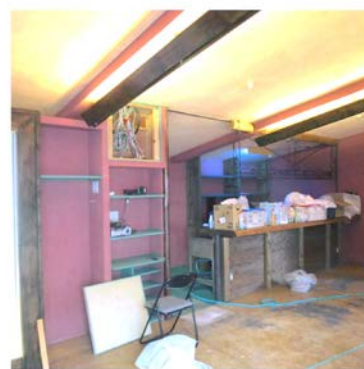


一番奥が
トビラ です

居場所 「To-Villa(トビラ)」



いっしょに つくりました



オープニングの様子





家族の会 とびら



「働く」お悩み 談話室

キャリアカウンセラーと話しながら

一番困っていることは何か？

本当はどのようにしたいのか？

など整理したり一緒に考えていきます

「働く」お悩み 談話室

キャリアカウンセラーと話しながら、一番困っていることは何か？
本当はどのようにしたいのか？ など整理したり一緒に考えていきます

例えば 気がかりなことって？
○働かなければと思うけど中々一歩踏み出せない ○働こうと思っても動き出せない
○家族が社会に出られなくて困っている ○働くことに不安がある 等

談話室利用費	
家族の相談	本人の相談
初回 1時間30分 3000円（会員1500円） 2回目以降 1時間 2000円（会員1000円）	初回 1時間30分 1500円（会員750円） 2回目以降 1時間 1000円（会員500円）
NPO活動会員 年会費 3000円 運営 お弁当チケット1枚・ドリンクチケット2枚	本人会員 年会費 3000円（分割払いあり） 運営 相談チケット・ドリンクチケット各3枚

開催日時など詳細はホームページでご確認ください
無料説明会もさせていただきますので
まずはお電話、またはメールにてご連絡をお願いします



ホームページQRコード

NPO法人南大阪サポートネット

〒589-0011
大阪狭山市半田6丁目1179
☎ 080-4970-1179（担当 はまじ）
✉ stecbystep2014.04.01@gmail.com

家族の会 も開催しています
社会と繋がりにくい家族や近しい人がおられる人の集まりです。スタッフが進行をしながら安全で安心な場を作っています。
参加費 500円（会員400円）

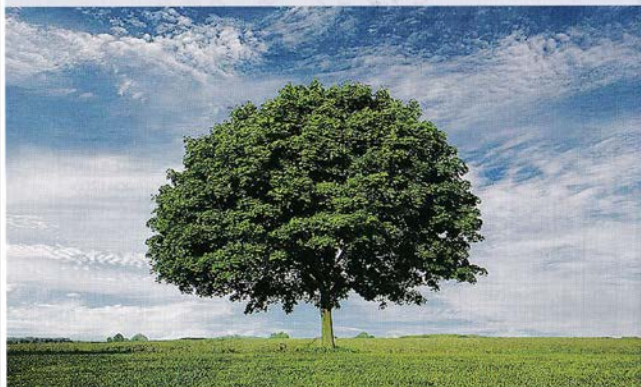
対人関係セッション

人の悩みのほとんどは対人関係ともいわれています

社会へのかかわりづらさを
抱える人や 支える人のための

対人関係セッション

カフェテリア形式で学ぶ



人の悩みのほとんどは
対人関係とも言われています

対人関係が苦手で人や社会にかかわることに辛さ
を抱える人や、そんな悩みを家族や友人として、
仕事として支える人のために、一緒に対人関係を
学ぶワークショップ・セッションを企画しました。

対人関係に関する様々な12個のテーマを取り上
げ開催します。各回完結式なので、興味のある
テーマ、都合の合う日程を選んでご参加ください。

参加の仕方も、ただ見るだけ、聞くだけでもあり、グル
ープワークに参加してみるのもあり、参加者同士でしっかり
対話をしてみるのもあり、講座へのかかわり方を自分で
選んで試してみるのところから学びが始まります。
参加したいテーマと日程とかがわり方が自分で選べる
カフェテリア方式です。

ワークショップ・セッションを通して自分自身の人との
かかわり方に気づき、人や社会へのかかわり方を互いに
支え合って切り拓いていけるような関係性をつくれたら
いいなと思っています。

*セッションの日時やテーマなど詳しくは裏面、またはHP (検索用サポートネット) をご覧ください
主催 NPO法人 南大阪サポートネット 問い合わせ ☎ 090-9048-6004 (はまじ)
大阪狭山市半田6丁目1179 (トビラ) メール stepbystep2014.04.01@gmail.com

社会へのかかわりづらさを
抱える人や 支える人のための

対人関係セッション

Vol.2

カフェテリア形式で学ぶ
セッション & 交流会

No	テーマ	Vol. 2		交流会
		日程	曜日	時間
1	自分のかかわり方に気づく	10月17日	土	13:30~16:00 16:00~17:00
2	対人関係のしくみを理解する	11月7日	土	13:30~16:00 16:00~17:00
3	しっかりと聴く	11月29日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
4	気づきを促す問いかけ	12月20日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
5	感情に振り回されないために	1月17日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
6	言いにくいことの伝え方	2月14日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
7	対人関係を促進する言葉がけ	2月28日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
8	対人関係を観る視点	3月21日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
9	互いの理解を深める対話	4月11日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
10	考えをまとめ、意思決定する	5月2日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
11	対人関係の中で自分の役割を見つける	5月23日	日	13:30~16:00 16:00~17:00
12	他者と気持ち合わせ、かき混ぜる	6月13日	日	13:30~16:00 16:00~17:00

*申し込み締め切りは各実施日2日前となります
*各テーマのセッションに関して催行最低人数は3名です。満たない場合は日程を変更することがあります
*セッションと交流会はそれぞれ別に申し込みが必要です (交流会は当日でも申し込みます)

交流会って？

対人関係セッションの体験と学びを共有したり
主催者、参加者、相互に交流し繋がりを広げたり深めたり
学んだことの話かし方を一緒に考えたり・・・参加した皆さんと一緒に作る時間です

<会場> 居場所 To-Villa (トビラ) 大阪狭山市半田6丁目1179
<参加費> ●セッション各回 1,000円 (参加時に現金でお支払いください)
●ワークの振り返りを含んだ交流会各回 500円
<定員> 8人 (受付先着順)
<お申込み・お問い合わせ> NPO法人南大阪サポートネット
☎ 090-9048-6004 (担当 はまじ)
メール stepbystep2014.04.01@gmail.com



定例会 学びの会



様々な体験の機会作り

ゴミ作り



絵画レッスン



様々な体験の機会作り

パソコンでの作業

ボランティア参加





すてっぷ by すてっぷ

お弁当 ご案内



ひきこもり自立支援を目的とした活動「すてっぷboyすてっぷ」
当事者と支援者が協力してお弁当を作っています
ぜひ一度食べてみてください

NPO法人南大阪サポートネットでは現代社会の中で生きづらさを抱える人
たちのための居場所「To-Villa」を開設しました。皆様方のご理解ご協力
に心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

3月のお弁当 (3/19日曜日)

- 「3月のお弁当」ご注文締切日は3/17 (土) です。

おから春巻き 弁当 500円

- ☆おから春巻き
- ☆小松菜とちくわのゴマ和え
- ☆ジャーマンポテト
- ☆煮物
- ☆ほか

の予定です



- 受け渡し場所は「To-Villa (大阪狭山市半田6丁目1179)」
- 受け渡し時間は当日 11:45~18:00です。
詳細はお問い合わせください。
- ご注文は ①時間 ②個数を 下記まで連絡お願いします。
(ある程度まとまった数量であれば配達是要相談)

電話 090-9048-6004 (浜治) まで
メール stepbystep2014.04.01@gmail.com

QRコード⇒



お弁当づくり



様々な体験の機会作り



いつもご協力ありがとうございます



様々な体験の機会作り



いつもご協力ありがとうございます



様々な体験の機会作り



いつもご協力ありがとうございます





とびらファーム





「食」=「生きる」でつながる

梅干し作りWorkshop



味噌づくり ワークショップ



スイーツ ワークショップ



2020年度大阪狭山市市民公益活動促進補助事業
“安らぎの居場所”トビラファーム観月祭

2020 月のまわり

今年もやります

みんなで幸せを願う観月祭



コロナにまわり

月にねがいもこめて!



ごはん会

地域食堂



ボランティアさんと バザー品作り



ものづくりワークショップ



ひろがり 有効スペース として活用



ひとりひとりが思うこと

色々あって どれもええやん

安心 温かい 排除がない 自由 実家

まるい感じ 疎外感がない まったり

ゆるやか お互いに敬意 ワクワク

繋がったり離れたたり 束縛しない 楽しい

ほっ えがお etc そんな居場所です

ぜひお立ち寄りください

「知らないこと」が先入観を作る

- メディアから流される情報
- ごく一部の人の事実や意見（うわさ話も）
- 「普通は○○あらねばならない」といった価値観から見た決めつけ

なんとなく・・・の思い込み っで作られてしまいます

ひとり ひとりが できること

- 気にかけてくれる（ただし押し付けはNG）
- うわさ話はしない
- 繋がるきっかけを渡す
- ちゃんと「知る」・「学ぶ」

みなさんの温かいお気持ちでよろしくお願いします

「生きづらさ」を感じている方が
ひとりで、またご家族で抱え込んでしまうことが

少しでもなくなっていくように

この情報を必要としている方に届くことを願っています

地域の方々の温かい眼差しこそ

その第一歩だと思います

これからもご理解とご協力、よろしくお願い致します

最後に

ひきこもりという社会課題に対するお話を
少しでも聴いてもらえたことに
感謝いたします

ひとりひとりが少しでも変化すると
社会は明るくなると思います



「おたがいさま」

が当たり前にある社会の実現に向けて
私たちに出来ることから取り組んでいきます
御清聴ありがとうございました

<http://npo-supnet.jimdo.com/>

ホームページQRコード

